

# 中小企業等におけるDX人材の育成

を支援しています！

現在、社会環境・ビジネス環境の変化に対応すべく、企業・組織を中心に社会全体のDX（デジタルトランスフォーメーション）が進んでいます。これに対応するためには、年代・職種を問わず、働き手一人ひとりがDXに参画し、デジタル技術を活用したプロセスの改善や、デジタルを活用しやすい組織づくりに取り組むことが重要となります。

生産性向上人材育成支援センターでは、生産性向上支援訓練カリキュラムモデルの中から「DX対応コース」を選定し、中小企業・事業主団体等の“DX人材の育成”を支援しています。



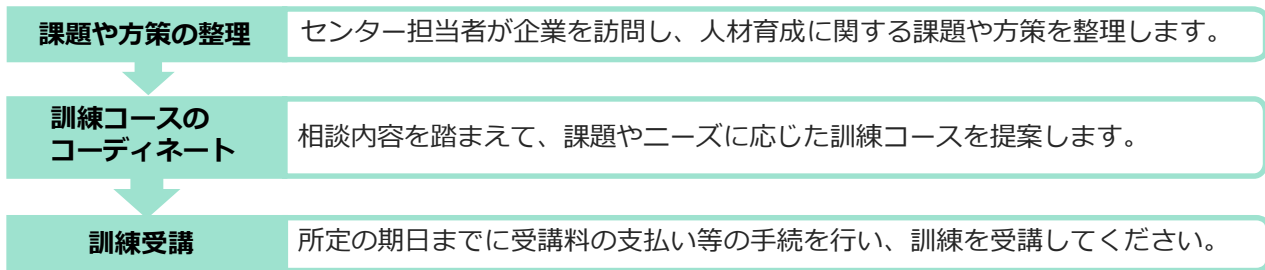
## DX対応コースの概要

生産性向上支援訓練カリキュラムモデルの中から、訓練目的・分野による分類とは別に、DX推進に向けたスタートコース、ネットワーク・セキュリティに関するコースを選定し、**共通領域**として設定しました。また、DXに向けた**3つの課題**を設定し、それぞれの課題解決に対応したコースを選定・分類しています。

共通領域	<b>DX推進に向けたスタートコース</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>○受講対象者 事業主の指示を受けた在職者の方</li><li>○訓練日数・時間 おおむね1～5日 (4～30時間)</li><li>○受講料(1人あたり・税込) 2,200円～6,600円</li><li>○訓練会場 自社会議室等を訓練会場とすることが可能です(講師を派遣します)</li></ul>
	⇒DXの推進に必要な知識や導入事例を知りたい	
	<b>ネットワーク・セキュリティに関するコース</b>	
⇒社内ネットワークのセキュリティ対策を進めたい		
3つの課題	<b>デジタル化と新しい生活様式の課題への対応</b>	
	⇒自社業務に適切なITツールを選定したい ⇒POSシステムを活用して売上げを伸ばしたい	
	<b>業務プロセスの課題への対応</b>	
	⇒システム化に伴うコストの考え方を知りたい ⇒物流全体の最適化・効率化を実現したい	
	<b>ビジネスモデルの課題への対応</b>	
	⇒IoTによるビジネス環境の変化や動向を知りたい ⇒システム開発に必要な発注者の役割を理解したい	

※DX対応コースの一覧は、裏面をご覧ください。

## 訓練受講までの流れ



※相談内容によっては、少人数からでも受講できるオープンコースのご利用を提案する場合があります。

◆お問い合わせ先 〒241-0824 神奈川県横浜市旭区南希望が丘78番地

独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構 神奈川支部

関東職業能力開発促進センター(ポリテクセンター関東)

生産性センター業務課 TEL: 045-391-2819 FAX: 045-391-9699

～生産性向上人材育成支援センター(生産性センター)は、事業主の皆様の生産性向上に向けた人材育成を支援しています～

ポリテク 関東



# DX対応コース一覧 全61コース (2024年4月現在)

## DX推進に向けたスタートコース 4コース

119 DXの推進    117 DXの導入    126 DX人材育成の進め方    129 製造分野におけるDX推進

## ネットワーク・セキュリティに関するコース 8コース

021 IoT導入に係る情報セキュリティ    040 eビジネスにおけるリーガルリスク  
 057 ネット炎上時のトラブル対応    098 ワイヤレス環境に必要な無線LANセキュリティ  
 099 社内ネットワークに役立つ管理手法    115 脅威情報とセキュリティ対策  
 116 情報漏えいの原因と対応・対策    125 テレワークに対応したセキュリティ対策

### デジタル化と新しい生活様式の課題への対応 19コース

009 POSシステムの活用技術  
 056 ITツールを活用した業務改善  
 091 企業内でIT活用を推進するために必要な技術理解  
 092 企業内でIT活用を推進するために必要なマネジメント  
 095 ビッグデータ活用  
 055 RPAを活用した業務効率化・コスト削減  
 096 RPA活用  
 083 テレワークを活用した業務効率化  
 088 テレワーク活用  
 120 データサイエンス入門  
 130 経理業務の効率化につながるDXの実践

### 業務プロセスの課題への対応 23コース

007 在庫管理システムの導入  
 016 物流のIT化  
 013 流通システム設計  
 014 物流システム設計  
 012 卸売業・サービス業の販売戦略  
 018 クラウド活用入門  
 020 クラウドを活用したシステム導入  
 054 クラウドを活用した情報共有能力の拡充  
 093 IT新技術による業務改善  
 094 AI(人工知能)活用  
 090 失敗しない社内システム導入  
 087 導入コストを抑えるクラウド会計・モバイルPOSレジ活用

### ビジネスモデルの課題への対応 7コース

015 3PLとSCM  
 017 SCMの現状と将来展望  
 019 IoT活用によるビジネス展開  
 089 データ活用で進める業務連携  
 118 ベンダーマネジメント力の向上

生産・業務プロセスの改善

横断的課題

売上げ増加

IT業務改善

122 テレワーク業務における労務管理

123 オンライン営業技術

103 効率よく分析するためのデータ集計  
 104 ピボットテーブルを活用したデータ分析  
 105 品質管理に役立つグラフ活用  
 106 表計算ソフトを活用した統計データ解析  
 114 SNSを活用した情報発信  
 124 オンラインプレゼンテーション技術

027 マーケティング志向の営業活動の分析と改善  
 028 統計データ解析とコンセプトメイキング  
 046 インターネットマーケティングの活用  
 036 プロモーションとチャネル戦略  
 047 チャンスをつかむインターネットビジネス  
 029 顧客分析手法  
 045 顧客満足度向上のためのCS調査とデータ分析

107 表計算ソフトのマクロによる定型業務の自動化  
 108 データベースを活用したデータ処理(基本編)  
 109 データベースを活用したデータ処理(応用編)  
 110 データベースを活用した高度なデータ処理

022 IoTを活用したビジネスモデル  
 121 ビジネスとSDGs(持続可能な開発目標)の融合